

表-3. 1. 46(2) 重要な動物種（昆虫類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査		
				(1) 文化財保護法	(2) 文化財保護条例	(3) 種の保存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL(海洋)	(7) 県RDB			
81	コウチュウ	クワガタムシ	ヒラタクワガタ								分布		
82			ノコギリクワガタ								分布		
83		コガネムシ	アカマダラハナムグリ						DD		絶I類		
84		ツチハンミョウ	ヒラズゲンセイ								準絶		
85		カミキリムシ		カノミドリトラカミキリ								準絶	
86				オキナワサビカミキリ						VU			
87				コバネゴマフカミキリ									準絶
88				トラフカミキリ									準絶
89	ハチ	ドロバチモドキ	ヤマトスナハキバチ						DD		準絶		
90			キバラハキバチ						NT		不足		
計	7	29	90	0	0	0	0	30	0	79	6		

注：種名及びリストの並びについては、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和3年度）」（令和3年8月10日更新）を参考にしました。

表-3. 1. 47 重要な動物種（クモ類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査	
				(1) 文化財保護法	(2) 文化財保護条例	(3) 種の保存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL(海洋)	(7) 県RDB		
1	クモ	ハラフシグモ	キムラグモ						VU			
計	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	

注：種名については、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和3年度）」（令和3年8月10日更新）を参考にしました。

表-3.1.48 重要な動物種（甲殻類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査
				(1) 文化財保護法	(2) 文化財保護条例	(3) 種の保存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL(海洋)	(7) 県RDB	
1	エビ	ヌマエビ	オニヌマエビ							準絶	
2			ツノナガヌマエビ							分布	
3		ヤマトヌマエビ							準絶	○	
4		テナガエビ	ザラテテナガエビ							分布	
5			スバズベテナガエビ							分布	
6			ツブテナガエビ					NT		準絶	
7			オオテナガエビ							分布	
8			イッテンコテナガエビ							準絶	
9			スジエビ							分布	
10			コツノテナガエビ (注1)							準絶	
11		オカヤドカリ	ムラサキオカヤドカリ (注1)		天					分布	○
12			ナキオカヤドカリ		天						○
13		オカガニ	ヒメオカガニ					NT		絶I類	
14		ベンケイガニ	アカテガニ							分布	
15			ユビアカベンケイガニ						NT		
16			ベンケイガニ						NT		○
17			イワトビベンケイガニ (注1)							準絶	
18		モクスガニ	ヒメアシハラガニ						NT		
19			ヒメケフサイソガニ							NT	絶I類
20			トゲアシヒライソガニモドキ								準絶
21			アゴヒロカワガニ							NT	準絶
22			ケフサヒライソモドキ								準絶
23			台湾ヒライソモドキ							NT	
24			トリウミアカイソモドキ							NT	分布
25			ヒラモクスガニ								絶II類
26		ムツハアリアケガニ	カワスナガニ					NT		準絶	
27		スナガニ	ハクセンシオマネキ					VU		準絶	
28			シオマネキ						VU		準絶
29		ミナミコメツキガニ	ミナミコメツキガニ							分布	
計	1	9	29	2	0	0	0	5	7	24	4

注：種名及びリストの並びについては、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和3年度）」（令和3年8月10日更新）を参考にし、生物リストになかった種（(注1)とある種）については、文献記載の種名を採用しました。

表-3. 1. 49(1) 重要な動物種（貝類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査	
				(1) 文化財 保護法	(2) 文化財 保護条 例	(3) 種の保 存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL (海洋)	(7) 県RDB		
1	カサガイ	ヨメガカサガイ	カサガイ	天								
2		ユキノカサガイ	ツボミ					NT				
3		ニシキウズガイ	イボキサゴ					NT				
4	アマオブネガイ	アマオブネガイ	ウミヒメカノコ					VU				
5			ツバサカノコ					NT				絶II類
6			ドングリカノコ									絶II類
7			ヒメカノコ					NT				
8			フネアマガイ									分布
9	盤足	ヤマタニシ	アツブタガイ ^(注1)									分布
10			ケハダヤマトガイ					NT				準絶
11			タネガシマアツブタガイ					NT				準絶
12			ミジンヤマタニシ ^(注1)									分布
13			ヤマタニシ ^(注1)									分布
14		ヤマグルマガイ	ヒメヤマグルマガイ									準絶 ○
15		アズキガイ	アズキガイ ^(注1)									分布 ○
16			フナトウアズキガイ									準絶
17		ゴマガイ	タネガシマゴマガイ									準絶
18			ハラプトゴマガイ					NT				絶II類
19			ヒダリマキゴマガイ									準絶
20		ムシオイガイ	クビマキムシオイ					NT				準絶
21			タネガシマムシオイ					NT				準絶
22		タニシ	ヒメタニシ									分布
23			マルタニシ					VU				準絶
24		カワニナ	カワニナ									分布 ○
25		トウガタカワニナ	タケノコカワニナ ^(注1)					VU				準絶
26			トウガタカワニナ									準絶
27		ウミニナ	イボウミニナ					VU				準絶
28			ウミニナ					NT				分布
29		フトヘナタリ	イトカケヘナタリ ^(注2)					NT				準絶
30			フトヘナタリ					NT				準絶
31			ヘナタリ					NT				準絶
32		リソツボ	スジウネリチョウジガイ					VU				準絶
33		カワザンショウガイ	ウスイロオカチグサ									準絶
34			カワザンショウガイ									準絶
35			クリイロカワザンショウガイ					NT				絶II類
36			サツマクリイロカワザンショウ									絶I類
37			ウスイロヘソカドガイ									準絶
38			オオウスイロヘソカドガイ									準絶 ○
39			ヘソカドガイ									準絶
40			ヘソカドガイ属									準絶 ○
41		クビキレガイ	クビキレガイ									準絶 ○
42			ヤマトクビキレガイ									準絶 ○
43		ミズゴマツボ	オキナワミズゴマツボ					NT				準絶
44			ミスゴマツボ					VU				準絶
45		イソコハクガイ	イソマイマイ					VU				準絶
46			シラギク					NT				
47		ソデボラ	オハグロガイ					NT				
48			ネジマガキ					NT				
49			ヒダトリガイ					NT				
50		タマガイ	アラゴマフダマ					VU				
51			ツツミガイ					NT				
52			ネコガイ					NT				
53	翼舌	イトカケガイ	オダマキ					NT				
54	新腹足	アッキガイ	オニサザエ					NT				
55		ムシロガイ	ムシロガイ					NT				
56		エゾバイ	オガイ					EN				
57			バイ					NT				
58		テングニシ	テングニシ					NT				
59		イモガイ	スジイモ					NT				
60			ツキイモ					VU				
61			ベッコウイモ					VU				
62		クダマキガイ	クダボラ					NT				
63		タケノコガイ	シチクガイ					NT				
64	基眼	オカミミガイ	カシノメガイ									準絶
65			シイノミミガイ					CR+EN				絶I類
66			スジハマシイノミガイ									準絶
67			ハマシイノミガイ									準絶
68			マキスジコミミガイ					NT				準絶
69		ケシガイ	ケシガイ					NT				準絶
70		ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ					DD				準絶
71		モノアラガイ	タイワンモノアラガイ					DD				分布
72			ヒメモノアラガイ									分布
73	柄眼	オカモノアラガイ	ヒメオカモノアラガイ ^(注1)									分布 ○
74		キバサナギガイ	スナガイ					NT				準絶 ○
75		マキシメガイ	マルナタネガイ									準絶 ○
76		キセルガイモドキ	チャイロキセルガイモドキ					VU				絶II類
77		キセルガイ	イトカケノミギセル					VU				絶II類
78			ウチマキノミギセル					VU				準絶 ○
79			コハラプトギセル					NT				準絶
80			タネガシマギセル					NT				準絶
81			ハラプトギセル									準絶

表-3. 1. 49(2) 重要な動物種（貝類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査	
				(1) 文化財 保護法	(2) 文化財 保護条 例	(3) 種の保 存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL (海洋)	(7) 県RDB		
82	柄眼	キセルガイ	ハラブトノミギセル					NT		準絶		
83			ヒメヤコビギセル					NT		準絶		
84		ヒロクチコギセル					CR+EN		絶II類			
85		ピントノミギセル							準絶	○		
86		ヤコビギセル							準絶			
87		オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	オカチョウジガイ							分布	
88				サツマオカチョウジガイ							分布	○
89				シリプトオカチョウジガイ							分布	
90				ホソオカチョウジガイ							分布	○
91				マルオカチョウジガイ							分布	
92				オカチョウジガイ属							分布	○
93		ナメクジ	ナメクジ	ナメクジ							分布	○
94				ヤマナメクジ							分布	○
95		ベッコウマイマイ	ベッコウマイマイ	オオクラヒメベッコウ							準絶	
96				オキナワベッコウ							準絶	○
97				コシダカヒメベッコウ					NT		準絶	
98				タネガシマヒメベッコウ							準絶	
99				ツノイロヒメベッコウ							準絶	
100				ナミヒメベッコウ							準絶	
101				ハリマキビ							準絶	○
102				ヒメベッコウ							準絶	○
103	ベッコウマイマイ								DD	絶II類		
104	ヤクシマベッコウ								DD			
105	ヒラシタラガイ						LP	準絶	○			
106	オナジマイマイ	オナジマイマイ	ウスカワマイマイ							分布		
107			オオスミウスカワマイマイ (注1)							分布	○	
108			オオスミウロコマイマイ							絶II類		
109			キリシマイマイ							絶II類		
110			コハクオナジマイマイ (注1)							分布		
111			タカチホマイマイ (注1)							分布		
112			チャイロマイマイ							準絶	○	
113			ツクシマイマイ (注1)							分布		
114			ツバキカドマイマイ						VU	準絶	○	
115			ハソカドケマイマイ						NT	準絶	○	
116	ヤクシマイマイ						VU	絶II類				
117	カサマイマイ	タカカサマイマイ						NT	準絶			
118	タワラガイ	タワラガイ							準絶			
119	ナタネガイ	ナタネガイ	ヤクシマタワラガイ							準絶		
120			カトウナタネガイ							準絶		
121	ナンバンマイマイ	タネガシママイマイ (注1)						NT		準絶	○	
122	フネガイ	ハイガイ						VU				
123	ウグイスガイ	ハボウキガイ	タイラギ					NT				
124	イシガイ	イシガイ	イシガイ								不足	
125			ニセマツカサガイ						VU		準絶	
126	マルスダレガイ	マルスダレガイ	マツカサガイ						NT		絶II類	
127			イセシラガイ						CR+EN			
128			ザルガイ	ヒシガイ						VU		
129			バカガイ	オオトリガイ						NT		
130			チドリマスオガイ	クチバガイ						NT		
131			フジノハナガイ	フジノハナガイ	キュウシュウナミノコ						NT	
132					ナミノコガイ						NT	
133			ニッコウガイ	ニッコウガイ	サクラガイ						NT	
134					ダイミョウガイ						NT	
135					ニッコウガイ						CR+EN	
136					モモノハナガイ						NT	
137			シオサザナミ	シオサザナミ	オチバガイ						NT	
138					ハザクラ						NT	
139					フジナミガイ						CR+EN	
140			キヌタアゲマキ	キヌタアゲマキ	キヌタアゲマキ						NT	
141					フナガタガイ	タガソデモドキ						NT
142			マルスダレガイ	マルスダレガイ	マジミ						VU	
143	ケマンガイ									NT		
144	シオヤガイ									NT		
145	シラオガイ									NT		
146	ハマグリ									VU		
147	オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ						NT			
計	12	61	147	1	0	0	0	88	0	99	26	

注：種名及びリストの並びについては、以下を参考にしました。
 ・「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和3年度）」（令和3年8月10日更新）
 ・新日本動物図鑑（中）昭和40年、岡田 要 北隆館
 ・日本近海産貝類図鑑、奥谷喬司、東海大学出版会、平成12年
 ・日本産野生生物目録（無脊椎動物編III）（環境庁 平成10年）
 鹿児島県RDBのカテゴリーについて、条件によりカテゴリーが異なる種（注1）について以下に示します。
 ・アツブタガイ：都市近郊個体群は消滅危惧II類。
 ・ミジンヤマタニシ：離島個体群・都市近郊個体群は準消滅危惧。
 ・ヤマタニシ：草垣群島・口之島等の離島個体群は消滅危惧II類、都市近郊個体群は準消滅危惧。
 ・アズキガイ：離島個体群・都市近郊個体群は準消滅危惧。
 ・タケノコカワニナ：鹿児島湾内各河川の個体群は消滅危惧II類。
 ・ヒメオカモノアラガイ：離島の個体群は準消滅危惧。
 ・オオスミウスカワマイマイ：口永良部島個体群は準消滅危惧。
 ・コハクオナジマイマイ：都市近郊個体群は準消滅危惧。
 ・タカチホマイマイ：都市近郊個体群は消滅危惧II類。
 ・ツクシマイマイ：都市近郊個体群は消滅危惧II類。
 ・タネガシママイマイ：屋久島・種子島個体群は消滅危惧II類。
 イトカケヘナタリ（注2）は、フトヘナタリの地理的変異とされているため、フトヘナタリと同様としました。

表-3.1.50 重要な動物種（サンゴ類）

No.	目名	科名	種名	選定基準							概況調査
				(1) 文化財保護 法	(2) 文化財保護 条例	(3) 種の保存法	(4) 県条例	(5) 国RL	(6) 国RL (海洋)	(7) 県RDB	
1	イシサンゴ	ミドリイシ	エダミドリイシ						VU		
2			ニホンアワサンゴ						NT		
3		ハナサンゴ	ハナサンゴモドキ		天				EN		
4		ハマサンゴ	オキナワハマサンゴ						VU		
計	1	3	4	0	1	0	0	0	4	0	0

注：種名及びリストの並びについては、「日本の有藻性イシサンゴ類-種子島編-」（国立環境研究所、2015）、「串本海中公園マリンパビリオン特別号 No. 4-6」（串本海中公園センター、2016）、「西表島網取湾の造礁サンゴ類. 西表島研究」（横地洋之ほか、2019）、「宮古諸島造礁サンゴ目録. 宮古島市史 第三巻 自然編 第1部みやこの自然 別冊」（梶原健次ほか、2020）、WoRMS (World Register of Marine Species, <http://www.marinespecies.org>, 2020) を参考にしました。

b) 注目すべき生息地の状況

対象事業実施区域周辺では、表-3.1.40 に示した注目すべき生息地の選定基準のうち、「KBA（生物多様性の保全の鍵になる重要な地域）」「重要湿地」「鹿児島県の重要な干潟」「重要海域」に選定されている地域が分布しています。また、環境省の自然環境保全基礎調査により、「干潟」「サンゴ礁」「マングローブ林」の分布が確認されています。

KBA（生物多様性の保全の鍵になる重要な地域）では、「屋久島・種子島」地域として、「非代替性 a）（限られた範囲にのみ分布している種（RR）が存在する）」という基準により選定されています。

重要湿地としては、「種子島の砂浜海岸とサンゴ礁」と「種子島のマングローブ湿地」の2種類が選定されています。重要湿地の概要を表-3.1.51 に示します。

鹿児島県の重要な干潟としては、「馬毛島」「甲女川河口」「国上湊川河口」「熊野海岸・大浦川・阿嶽川河口マングローブ」「宮瀬川河口」「郡川河口」が、選定されています。鹿児島県の重要な干潟の概要を表-3.1.52 に示します。

重要海域としては、「馬毛島」「種子島喜志鹿崎周辺」「種子島西部」「種子島南部」「種子島東部」の5地域が選定されています。重要海域の概要を表-3.1.53 に示します。

自然環境保全基礎調査では、「熊野浦」で干潟が、「志和野」「竹ノ島」「吉信崎」でサンゴ礁が、「大浦川河口」でマングローブ林が確認されています。

注目すべき生息地として、重要湿地、重要海域及び干潟、サンゴ礁、マングローブ林の分布状況を図-3.1.18 及び図-3.1.19 に示します。

表-3.1.51 重要湿地の概要

湿地名	生息・生育域	所在市町	生物分類群	選定理由	選定基準
種子島の砂浜海岸とサンゴ礁	種子島住吉	西之表市中種子町南種子町	造礁サンゴ	貴重な種が生息している。	2
	種子島大塩屋港		造礁サンゴ	種の多様性が高く、種子島周辺海域から多くの種が報告されており、希少種を含む。	2, 3
	種子島熊野港		造礁サンゴ	種の多様性が高く、種子島周辺海域から多くの種が報告されている。	3
	浦田海岸など西之表市海岸		ウミガメ	アカウミガメの重要な繁殖地	5
	長浜海岸、前之浜、竹崎海岸		ウミガメ	アカウミガメの繁殖地で屋久島について産卵が多い。後背の植生も豊かに残されている。	5
	種子島の砂浜海岸		昆虫類	イカリモンハンミョウの生息地	2
種子島のマングローブ湿地	湊川	西之表市南種子町	マングローブ	メヒルギの生育地。世界的な分布の視点から、北限域に分布するマングローブ樹種が生育する。マングローブ林が形成される貴重な湿地のうち、とくに地理的に重要である。	2
	大浦川				
	大浦川		昆虫類	ヨドシロヘリハンミョウの生息地。	2

注：選定基準の番号は表-3.1.40の「重要湿地」に対応しています。

出典：環境省ウェブサイト「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」

(http://www.env.go.jp/nature/important_wetland/index.html)

表-3.1.52 鹿児島県の重要な干潟の概要

干潟名	所在市町	生物分類群	選定理由	選定基準
馬毛島	西之表市	貝類	県カテゴリーで絶滅危惧Ⅱ類に選定された、ツバサノカノコガイの分布北限地となっている。ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類の淡水汽水産の希少種が生息している。馬毛島沿岸の小規模河川が流れ込む海岸は遠浅の岩場となっており、トコブシなどの特に優れた漁場である。	小規模干潟
甲女川河口	西之表市	貝類	ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類、タケノコカワニナ（県準絶滅危惧）などの絶滅危惧種を含む淡水性汽水性希少貝類が多い。	小規模干潟
		甲殻類	準絶滅危惧のシオマネキが右岸の一部に生息している。	
国上湊川河口	西之表市	マングローブ	比較的大規模なメヒルギのマングローブ林があり、マングローブ林の確実な自然林の北限地となっている。	小規模干潟
		鳥類	サギ類、カモ類の越冬地となっている。	
		貝類	ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類、タケノコカワニナ（県準絶滅危惧）などの絶滅危惧種を含む淡水性汽水性希少貝類が多い。	
熊野海岸・大浦川・阿嶽川河口マングローブ	中種子町	マングローブ	メヒルギを主としたマングローブ林があり、干潟も出現する。	小規模干潟
		鳥類	チドリ類、シギ類などの記録がある。	
		魚類	汽水性のハゼ亜目魚類が豊富で多様性が高い。トビハゼの県内最大の生息地である。県カテゴリーで絶滅危惧Ⅰ類のアカメの生息情報、絶滅危惧Ⅰ類の星マダラハゼ、コンジキハゼの記録もある。また、マハゼ、ビリンゴの国内南限地となっている。	
		貝類	ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類、タケノコカワニナ（県準絶滅危惧）などの絶滅危惧種を含む淡水性汽水性希少貝類が多い。	
		甲殻類	準絶滅危惧のシオマネキが多数出現するとともに、鹿児島県絶滅危惧Ⅱ類のヒラモクズガニの北限である。	
		植物	阿嶽川河口にハマジンチョウが生息している。	
宮瀬川河口	南種子町	マングローブ	河口右岸に小規模なメヒルギを主としたマングローブ林がある。	小規模干潟
		貝類	ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類、タケノコカワニナ（県準絶滅危惧）などの絶滅危惧種を含む淡水性汽水性希少貝類が多い。	
		甲殻類	準絶滅危惧のシオマネキの生息地である。	
		魚類	南方系の汽水性魚類が多く見られる。	
郡川河口	南種子町	マングローブ	メヒルギのマングローブ林がある。	小規模干潟
		貝類	ウミナガ類、カワザンショウガイ類、オカミミガイ類、タケノコカワニナ（県準絶滅危惧）などの絶滅危惧種を含む淡水性汽水性希少貝類が多い。	
		植物	ナンテンカズラ、ハマナツメの群落が見られる。	

注：選定基準は表-3.1.40の「鹿児島県の重要な干潟」に対応しています。

出典：改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 動物編-鹿児島県レッドデータブック 2016-

(鹿児島県、平成28年3月発行)

(<http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/reddata/reddatabook.html>)

表-3.1.53 重要海域

海域名	該当市町村	抽出基準	選定理由
馬毛島	西之表市	2, 3, 7	貝類の多様性が高いとして専門家により選定されたため
種子島喜鹿崎周辺	西之表市	2, 3	基準8かつ、MARXANにより選定されたため
種子島西部	西之表市 中種子町	1, 2, 3	基準8が高く選定されたため
種子島南部	中種子町 南種子町	1, 2, 3, 7	MARXANにより選定されたため
種子島東部	西之表市 中種子町	1, 2, 3	基準3、6が高く、MARXANにより選定されたため

注1：抽出基準の番号は表-3.1.40の「重要海域」に対応しています。

注2：解析は、下記の手順で行われています。

①解析範囲の決定（沿岸域は、5kmグリッド）

②抽出基準ごとに設定した適用例を参照し、各グリッドにGISデータ等の情報をインプット

③下記のいずれかの方法で各グリッドを5段階評価し、1～5のスコア付与

1. より抽出基準に合致する要素（種や生態系など）が重なる場所を特定

2. MARXAN（生物多様性保全上優先度の高い場所や海洋保護区の候補地を科学的に選定するためのアルゴリズム）を用いた相補性解析

3. その他（面積割合、生産性高さ、種の多様度期待種数、生育場所の重なり度合い等）

④付与した各グリッドのスコアを活用し、抽出基準別の情報図作成

⑤抽出基準別の情報図を統合し、MARXANによる相補性解析によって高優先度とされたグリッド、及び抽出基準別の情報図において最も高いスコアを「ハイスコア」とし、ハイスコアをすべて重要としたグリッドを重ね合わせる

⑥ハイスコアもしくは、MARXANにより優先度が高いグリッドのいずれかに該当するグリッドを「重要海域」として抽出

出典1：環境省ウェブサイト「生物多様性の観点から重要度の高い海域」

(<http://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/kaiiki/index.html>)

出典2：MARXAN (Marin reserve design using spatially explicit annealing)

(<https://marxansolutions.org/>)